

答 ふるさと納税の使途として12項目を明示していますが、鶉野飛行場跡地についても払い下げを受けて市の所有になりましたので、ふるさと納税の使途項目に追加する等、総合的に検討したいと考えています。

環境

問 あびき湿原の今後の支援について。

答 観光資源としても重要と位置付けており、29年度のトイレ整備や動植物調査の実施後も、多くの方に訪れていただき、なおかつ保護していくという形で支援していきたいと考えています。



こども園

問 各地区の就学前施設整備基本計画地域協議会の状況について。

答 北条地区と加西地区は、基本計画を策定済みであるため地域協議会は現在ありません。泉地区は地域協議会での議論を答申にまとめているところであり、今後、合意をいただいた上で、基本計画をまとめ、保護者に説明していきたいと考えています。



問 加西地区の基本計画では、100人を適正規模とし、また、民間園を活用することで、各小学校区に対して適切な配置となるため、これを活用して就学前施設の体制を整えていくという話である一方、なぜ、民間園のない泉地区において、1園への統合案が提起されるのか。

答 子供が減っているなか、泉地区の将来の適正規模は、1施設と提案しています。地域の努力や思いも理解していますが、0～2歳児を預かって欲しいなど、多様化する保育ニーズに対応するには、一つの大きな施設でまとめて保育することで、職員の適正配置ができるなど、地域で子育てするというメリットをとらえていただきたい。



国民健康保険特別会計

問 優良世帯表彰制度について。

答 表彰制度で渡す無料クーポン券で健診を促進するよりも、健診そのものを無料化して、健診を受けやすい環境を整える方が積極的な受診を誘導する効果が大きく、また受診率の向上も見込まれると考え、29年度から廃止します。

介護保険特別会計

問 通いの場の創出事業について。

答 先進地においてもほとんどが手挙げ方式で実施しており、また行政からの依頼や押しつけでは長続きしないということもあり、今後もこれまで同様に手挙げ方式でふやしていきたいと考えています。

水道事業会計

問 将来、県水に一本化になれば、市川町からの供給の必要はなくなるが、市川町は承知しているのか。

答 28年度30回余りの協議の中で、丁寧に説明していることに加え、28年3月には市川町の町長、副町長と加西市長が会い、加西市としてもベストの状態水道事業を運営していきたいという話をしています。また、市川町の総務委員会の中でも執行者側から説明し議論いただいています。

問 給水収益で有収水量が28年度より下がっていることについて。

答 工業用などは現状維持と予測しており、一般家庭用は戸数が増えていますが、節水意識の普及などで受水量が減少すると推計し、全体として減少すると考えています。



下水道事業会計

問 北条地区の水洗化促進について。

答 水洗化率の低い地域から水洗化促進補助金制度の案内に回っていました。29年度は、北条地区を回りたいと考えています。

問 他会計補助金及び負担金が減額になっている理由について。

答 コミプラ等の整備から年数が経ち、起債の元金の償還金も利息も減少してきていることから、一般会計からの繰り入れが減少しています。



病院事業会計

問 経営支援による一般会計繰入を行った28年度の最終補正と比べて、29年度の入院収益が少し過大ではないか。

答 従来から少し高い目標を定めて、それに近づくように努力しています。29年度も医師の確保に努めるほか、現在勤務している医師に努力していただくなどして、目標値として設定した1日平均入院患者数に向けて努力していきます。

